




所属・職位	福祉健康科学部 福祉健康科学科 社会福祉実践コース・教授	
氏名	上白木 悦子 (Kamishiraki Etsuko)	
取得学位	博士 (医学)、九州大学、2010年5月	
SDGs目標	 	

研究分野 社会福祉学

研究キーワード 緩和ケア・終末期医療、ソーシャルワーク、社会福祉学、尊厳

研究内容

- 緩和ケア・終末期医療における医療ソーシャルワーカーの役割に関する研究
医療技術の長足の進歩や人口構造の変化、医療政策の転換等、さまざまな事情によって、昨今、緩和ケアや終末期医療の場面においても倫理的・法的・社会的検討課題が増えています。例えば、意思の確認ができない患者さんの医療方針の決定について、周囲の人々や社会がどのように考えているかといったことは、誰にでも起こりうる倫理的・法的・社会的な検討課題です。これらの課題に対してソーシャルワークがどのようなことができるのか、研究を続けています。
- 障害者施設の看取りに関する研究
- 地域共生社会に向けた実務者ネットワーク会議事業（大分県保健福祉部との事業）
- 障害者の生涯学習支援体制の構築事業（大分県教育庁との事業）

研究業績・アピールポイント 上記の研究内容について、今まで明らかにされていなかった、緩和ケア・終末期医療における医療ソーシャルワーカーの役割を、5つの役割として新しく提示しました（下図）。研究紹介動画（本学研究マネジメント機構産学官連携推進センター作成）
(<https://youtu.be/JeludIVHJMg>)でも紹介しています。

- 論文
- 1. 2021年、上白木悦子「緩和ケア・終末期医療における医療ソーシャルワーカーの役割の必要性—患者への質問紙調査の因子分析結果—」社会福祉学 62(1), 14-26. (2019年日本社会福祉学会奨励賞（論文部門）受賞)
- 2. 2018年、「緩和ケア・終末期医療における医療ソーシャルワーカーの役割遂行の構造に関連する要因」社会福祉学 59(3), 16-29.

